

2022年公益財団法人日本バドミントン協会 ジュニア日本代表選手選考基準

《新型コロナウイルス感染症拡大に伴う限定措置基準》

ジュニア日本代表選手は、将来、日本代表選手として、オリンピックをはじめとする、国際大会で活躍できる選手を
発掘・育成するため、U19、U16、U13 それぞれ下記内容の選考基準で選考し編成する。

U19 男女各18名程度

内定選手基準

全国高等学校選手権シングルスベスト4以上、ダブルス2位以上

全国中学校体育大会シングルス優勝

選考会招聘基準

(1) 高校2年生：現ナショナルチームU19メンバー

令和2年度全国高校選抜シングルスベスト8、ダブルスベスト4以上

令和3年度全国高等学校選手権シングルスベスト16、ダブルスベスト8以上

*今年度については、全日本ジュニア選手権中止のため、ダブルスのペアが同学年でなくても可とする。

(2) 高校1年生：現ナショナルチームU19メンバー

令和3年度全国高等学校選手権シングルスベスト16、ダブルスベスト8以上

令和3年度全国高等学校選抜大会シングルス出場、各ブロックダブルス優勝

ただし、北海道は北南でシングルス2位以上、ダブルス優勝

また、全国選抜地元開催枠については、シングルス優勝、ダブルス優勝

*今年度については、全日本ジュニア選手権中止のため、ダブルスのペアが同学年でなくても可とする。

*ただし、選考会はシングルスで行う

(3) 中学3年生：現ナショナルチームU16メンバー

全国中学校体育大会シングルスベスト8、ダブルス優勝

*ただし、選考会はシングルスで行う

(4) 全国高等学校体育連盟バドミントン部専門部推薦若干名

(5) 令和3年度全国高等学校選抜大会シングルス2位以上、ダブルス優勝

U16 男女各18名程度

内定選手基準

全国中学校体育大会シングルス優勝

全国小学生大会6年生以下シングルス優勝

選考会招聘基準

- (1) 中学2年生：現ナショナルチームU16メンバー

全国中学校体育大会シングルス出場者（地元開催枠を除く）、ダブルス2位以上

*今年度については、全日本ジュニア選手権中止のため、ダブルスのペアが同学年でなくても可とする。

- (2) 中学1年生：現ナショナルチームU16メンバー

全国中学校体育大会シングルス出場者（地元開催枠を除く）、ダブルス2位以上

*今年度については、全日本ジュニア選手権中止のため、ダブルスのペアが同学年でなくても可とする。

前年度選考会参加者より各4名（前年度選考会での成績上位者を選出）

- (4) 小学6年生：全国小学生大会6年生以下シングルスベスト8、ダブルス優勝

U13 男女各18名程度

内定選手基準

全国小学生大会5年生以下シングルス優勝

全国小学生大会4年生以下シングルス優勝

選考会招聘基準

- (1) 現ナショナルチームU13メンバー

- (2) 全国小学生大会5年生以下シングルスベスト16、ダブルス優勝

- (3) 全国小学生大会4年生以下シングルスベスト16、ダブルス優勝